

事業報告書（令和5年度）

事業名 ネパールの女性のお祭り ティーズ

団体名 ネパールソサエティ岡山 担当者名 アチャリヤ プレム プラサド

※活動の様子がわかる写真と説明を必ず添付してください。

1. 活動内容（日時、場所、参加対象者、人数、内容等）

日時：令和5年9月15日

場所：ランチ岡山北長瀬グリーンステージ（岡山市北区北長瀬表町2-17-80）

参加対象者：岡山市民および岡山市近郊に在住・在勤・在学の人

人数：約200名

内容：ネパールの女性のお祭りであるティーズを企画・運営・実施し、自分たちの住んでいる地域社会に外国ルーツの人たちがいることへの気づきを促す。また多文化共生社会推進のために何をしたらいいのかを考える機会にする。

2. ESDの視点

① 事業を通じて、参加者にどのような気づきや意識・行動の変容があったか

他国の文化に触れることで、日本とは異なる習慣や習わしなどを学ぶことができた。民族衣装に身をつつんだ女性たちがたくさん集まっているところを目にしたことで、自分たちの身近にもたくさんの外国にルーツを持つ人が住んでいるということを感じられたのではないかと思う。

② どのように学び合いを取り入れたか

外国にルーツを持つ人たちが主体となってイベントを企画・運営しつつ、日本人との協働もすることで多文化共生社会を考えるきっかけになった。

③ どのような学びと実践を結び付ける工夫を行ったか

実行委員会にネパール人関係者、日本人関係者が関わることでお互いの国のイベント開催の方法を学びあうことができた。

極力ネパールのやり方にそうようにし、どうしても日本のルールに合わせなくてはいけないところは日本式にした。

3. 取組の成果（事業計画書に記載した事業の目的・目標をどのように達成できたか。事業を実施してどのような成果があったか。）

イベント自体は概ね成功したと言えると思うが、オープンスペースということもあり、近隣への音の配慮が難しかった。

イベント関係者は出来る限り大きな音にしようとするのだが、施設の担当者は近隣の住民へ配慮してなるべく音量を小さくしようとするので、妥協点を探すのに苦労した。

また、イベントへのアプローチの方法が日本とネパールとでは違いがあったため、どちらがどちらへ歩み寄ったらいいのか最後まで正解がわからず終わってしまった。

さらに、ゲストをネパールから招へいしようとしたが来日のビザが許可されず、直前になって日本滞在のアーティストに依頼をするなど当日のスケジュールがぎりぎりまで決まらないこともその後のスケジュールに影響し、チラシ作成や告知が予定どおりできなかったのが残念だった。

当日実際に足を運ぶ人以外にも多文化共生のためのイベントがあるということをもう少し告知できていれば、音量への反応も違ったのかもしれない。

自分たちの住んでいる地域社会には外国にルーツのある人たちがいることへの気づきを促すことを目的にしたイベントであったが、日本人の参加者が少なすぎたのが残念だった。学校や他の国際交流団体と協働開催の形をとって、スタッフの段階から関わりをもつべきであったが、ネパール側のスタッフは飲食業に従事している人が多く、事前に設けたミーティングも平日の夜になることが多かったため、日本人スタッフも参加しづらくなってしまったのが原因と思われる。

それでも当日は遠方から学生を引率して参加してくれた学校関係者もいたので、今後同じようなイベントを開催するのであれば、岡山に限定せずに参加者やスタッフを募るのも一案かもしれない。

4. 今後の課題と展望（事業がどのように岡山地域の ESD の取組と持続可能な社会づくりの発展・継続につながるか）

今回はコロナ後に開催するイベントであったため、近隣の中学校、高校、大学や学生団体に積極的に声をかけられず、留学生の参加が多かった半面、日本人の学生の参加が少なかったため、どのように参加を促すかが今後の課題と言える。

イベント当日はもとより、イベントをするまでの過程も楽しめるような工夫をするなどまだまだ今回取り入れられていない事柄が多いので、それらを上手に活用したら学生も参加しやすく、他国の文化を楽しむイベントとして、こういったイベントの開催意義はあるのではないだろうか。今後は SNS や動画配信など最近のツールを使ってイベントを PR し、ネパールはもとより他の国にルーツのある人も巻き込んで企画ができれば ESD の目指す持続可能な社会づくりに一石を投じることができると考えている。



司会をした留学生



開始前の会場の様子



イベント開催にあたり尽力した方々へトークンを授与



アーティストが歌や踊りを披露



後半は参加者も一緒に踊った

नेपाली नारीहरुको महान चाड हरितालिका तिजको अवसरमा ओकयामा नेपाली समाज जापानद्वारा आयोजित साँस्कृतिक २०२३ कार्यक्रम स गौरव प्रस्तुत गर्दछ ।

ティーズはネパールでも有名なお祭りのひとつです。女性は着飾って歌を歌ったり踊ったりします。岡山初のティーズをあなたも体験してみてください。



चर्चित लोक गायिका
Sushila Gautam

चर्चित लोक गायक
Surya Khadka

चर्चित लोक गायिका
Kajal Gurung

नेपाली खानाको परिकारहरुको साथमा नेपाली साँस्कृतिक कार्यक्रम प्रस्तुत गर्दछौ ।



2023年9月15日 (金) 18:00 ~ 参加費:無料 Admission Free
ブランチ岡山北長瀬グリーンステージ (岡山市北区北長瀬表町2-17-80)
BRANCH OKAYAMA Kitanagase Green Stage
(Okayama shi Kitaku Kitanagase Omotemachi 2-17-80)

यस साँस्कृतिक कार्यक्रमबाट बचेको रकम नेपालका असाहाय,
बालबालिकाहरुको शिक्षामा सहयोग गरिनेछ ।

このイベントでの収益金は教育に困難をかかえたネパールの子どもたちのサポートに使われます。

CONTACT NUMBERS:

OKAYAMA
Acharya Prem Prasad
080 3878 3124
Kandel Dhan Prasad
070 3786 1769
Basnet Nabaraj
090 2094 8307

KURASHIKI
Sharma Suraj
080 5728 2233
Dulal Arjun
09035075796
SAKAIDE
Acharya Shiva Prasad
090 8602 5363

(日本語) Yuko Emi
080-4267-4789

FUKUYAMA
Gole Bhim Bahadur
080 2907 0499

SPECIAL SPONSOR:



岡山ESDプロジェクト参加事業

